



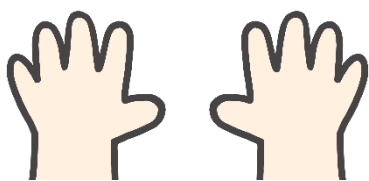
亀中だより

No.12 令和4年6月15日 文責:岡田



For The Students!

脱マスクのススメ



6月10日の報道で、文部科学省が9日、全国の教育委員会に対し、小中高校の体育の授業や運動部活動中は、コロナ対策のマスクを外すよう児童生徒に指導することを求める方針を固めたと、発表されました。

本校でも体育祭の練習時に体調を崩した生徒がありました。この先、夏に向かう中では、梅雨時の高温多湿、さらには今夏の気温予測には例年より暑い夏となりそうだとのニュースがあります。

登下校、保健体育の授業、部活動の三つの場面では、特にリスクが高いとし「熱中症対策を優先し、児童生徒に対してマスクを外すよう指導する」とされました。これまでよりも1ランク強く、マスクを外して熱中症予防を優先することを求められたといえます。

これから中体連の地区大会も待っています。大会時はもちろんのこと、その大切な大会に万全の体調で臨むためにも、日々の活動時から熱中症予防の第一として、「脱マスク」「マスク着用不要」について指導していきたいと思います。



ただ、マスク着用緩和の動きが広がる中で、長期のコロナ禍でマスク姿が定着し、素顔を見せることに抵抗を感じる人たちも若い世代を中心に増えているともいわれています。顔の一部を覆うことで対人不安が和らぐということもあるようです。

あれほどつらく、うっとおしいと思っていたマスク…。早く取れる日が来るようにと願ったものですが、一筋縄ではいかないところもあるようです。

仮に脱マスクがすすんだとしても、コロナ禍の間はマスク非着用時のマナー（近距離での会話を控えるなど）は必要です。学校での指導も、内面への配慮を加味しつつ、感染防止と熱中症防止に取り組んでまいります。ご家庭でもお話し合いやご指導をよろしくお願いいたします。